

【根拠となった主要な試験結果】

表1 春播栽培での防除

(平成12年 青森畑園試)

区名	農薬使用回数		内 容
	化学合成	B T	
有機栽培	0	2	6/16ガードジェット、7/3バシレックス
無農薬・無化学肥料	0	2	サンサンネットN3000 (0.6mm目合) で被覆
減農薬・減化学肥料	2	1	5/22フォース、6/16ガードジェット、7/3モスピラン
対 照	4	0	5/22フォース+バイデート、6/17ノーモルト、7/3モスピラン

表2 春播栽培での収穫物調査

(平成12年 青森畑園試)

区名	収穫日 (月/日)	根重 (g)	総収量 (kg/g)	上物収量 (kg/g)	下物収量 (kg/g)	虫害株率 (%)	曲り株率 (%)
有機栽培	7/17	771	488.4	0.0	488.4	100.0	6.7
無農薬・無化学肥料	7/17	1,029	670.5	257.6	412.9	0.0	56.7
減農薬・減化学肥料	7/17	1,042	650.2	552.6	97.6	0.0	6.7
対 照	7/17	1,035	649.8	598.9	50.9	0.0	6.7

虫害は根部に明確なキスジノミハムシの食害痕のあるもの

播種期：5月25日 品種：べっぴん

栽培様式：うね幅120cm、株間30cm、条間45cm、2条植、黒マルチ

(無農薬・無化学肥料区の被覆形態：うね面60cm、トンネル高40cm)

施肥：有機栽培、無農薬・無化学肥料：ヘルシー有機、減農薬・減化学肥料：ヘルシー有機+尿素複合
 燐加安(窒素量で半量ずつ)、対照：尿素複合燐加安
 いずれも窒素成分で0.6kg/a全量基肥

表3 夏播栽培での防除

(平成12年 青森畑園試)

区名	農薬使用回数		内 容
	化学合成	B T	
有機栽培	0	2	8/29ガードジェット、9/18バシレックス
無農薬・無化学肥料	0	2	サンサンネットN3000 (0.6mm目合) で被覆
減農薬・減化学肥料	2	1	8/16フォース、8/29ガードジェット、9/18アフアーム
対 照	4	0	8/16フォース、8/29マッチ、9/2スピノエース、9/18アフアーム

表4 夏播栽培での収穫物調査

(平成12年 青森畑園試)

区名	収穫日 (月/日)	根重 (g)	総収量 (kg/a)	上物収量 (kg/a)	下物収量 (kg/a)	虫害株率 (%)	モザイク株率 (%)	曲り株率 (%)
有機栽培	10/24	642	353.2	0.0	353.2	100.0	33.1	6.1
無農薬・無化学肥料	10/23	1,274	589.7	490.7	99.0	0.0	0.0	13.3
減農薬・減化学肥料	10/24	713	381.3	240.4	140.9	33.3	36.2	10.4
対 照	10/23	879	453.0	441.6	11.4	0.0	20.3	0.0

虫害は根部に明確なキスジノミハムシの食害痕のあるもの

播種期：8月17日 品種：耐病総太り

栽培様式：有機栽培、減農薬・減化学肥料、対照；うね幅70cm、株間30cm、1条植、無マルチ

無農薬・無化学肥料；うね幅150cm、株間30cm、条間40cm、2条植、白黒サマーマルチ

(無農薬・無化学肥料区の被覆形態：うね面100cm、トンネル高60cm)

施肥：有機栽培、無農薬・無化学肥料；ヘルシー有機(全量基肥)

減農薬・減化学肥料；ヘルシー有機(基肥)+燐硝安加里(追肥)

対照区；尿素複合燐加安(基肥)+燐硝安加里(追肥)

いずれも窒素成分で計1.0kg/a (追肥体系区は基肥0.8kg/a+追肥0.2kg/a)

(参考)

サンネットN3000 (0.6mm目合) 210cm×100m 40,740円
 54,300円/10a(耐用5作で計算)